

2008年度、大学・非営利機関に対する連邦科学技術支援は実質減少（2月）

国立科学財団（National Science Foundation : NSF）は、「連邦政府による大学・非営利機関に対する科学技術支援に関する NSF 調査（National Science Foundation Survey of Federal Science and Engineering Support to Universities, Colleges, and Nonprofit Institutions）」の最新版を発表した。これによれば、2008年度において連邦政府機関は、大学 1,316 校の科学技術活動に対して支援を行い、その合計支援額は 284 億ドルであったという。これは前年度比 0.9%の増加であったが、2005年恒常ドルベースでは 1.4%の減少となっている。またそのうち、2008年度の大学への研究開発支援額は 255 億ドルで、前年度比 1.9%増であったが、2005年恒常ドルベースでは 0.4%の減少となっている。大学機関への連邦科学技術歳出のうち 60%は厚生省（Department of Health and Human Services）からのもので、その他には NSF からの歳出が全体の 15%、国防総省（Department of Defense）からの歳出が全体の 10%を占めていた。さらに、連邦科学技術資金の受給額が一番高かった大学機関は前年に続きジョンズ・ホプキンス大学（Johns Hopkins University）で、同大学が連邦政府から受給した資金のうち厚生省と国防総省からの拠出が全体の 92%を占めている。なお、非営利機関への連邦科学技術支援額は 2007年度は 690 億ドルであったものが、2008年度には 650 億ドルへと 5.8%減少しており、減少額は国防総省からの歳出額減少を反映したものとなっている。

なお、本調査の要旨と図表は

<<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12306/nsf12306.pdf>>から閲覧可能。

National Science Foundation, *Federal Obligations for Science and Engineering to Universities and Colleges Show Little Growth*

<http://www.nsf.gov/statistics/infbrief/nsf12306/>